

市議会だより なかま

No.181

Shigikaidayori NAKAMA

2022.2.10

<http://www.city.nakama.lg.jp>



1月9日、令和4年成人式がなかまハーモニーホールで開催されました。

中間市では331の方が成人式を迎えられ、晴れて大人の仲間入りを果たしました。



■ 10月臨時会・12月定例会の概要と議決結果	2～4
■ 一般質問	5～8
■ 中間市議会からのお知らせ	8

10月臨時会と12月定例会の概要と議決結果

10月臨時会の概要と議決結果（10月22日）

令和3年第7回（10月）臨時会におきましては、議案が1件提出され、10月22日の1日間で審議されました。10月臨時会において、審議された議案について、ご紹介します。

○ 可決

第53号議案

令和3年度中間市一般会計補正予算（第7号）

【歳出の主なもの】

・新型コロナウイルスワクチン接種事業・・・・・・・・ 8,311万円

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種のため、ワクチン接種業務に従事する医師等への委託等に関する費用です。

中間市での3回目の接種は、原則8か月以上経過した18歳以上が対象になります。医療従事者等を対象とした3回目の接種が既に令和3年12月から始まっています。

市長提出議案

議案番号	件名	議決結果
第53号議案	令和3年度中間市一般会計補正予算（第7号）	原案可決

12月定例会の概要と議決結果（11月30日～12月14日）

令和3年第8回（12月）定例会におきましては、同意案2件、議案9件、意見書案2件が提出され、11月30日から12月14日までの15日間をかけて審議されました。

12月定例会において、審議された主なものについて、ご紹介します。

○ 可決

第62号議案

令和3年度中間市一般会計補正予算（第8号）

【歳出の主なもの】

・子育て世帯への臨時特別給付金・・・・・・・・ 2億8,190万円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯を支援するため、高校生までの子どもを養育し、かつ児童手当の本則給付相当の受給者に対し、臨時特別給付金を支給します。

※本事業については、中学生以下の子どもがいる世帯に対し、令和3年12月24日に子ども1人につき10万円を支給しました。

12月定例会の概要と議決結果

○ 可 決

第 54 号議案

令和 3 年度中間市一般会計補正予算（第 9 号）

【歳出の主なもの】

- ・ 社会教育施設感染拡大防止協力金・・・・・・・・・・ 400 万円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本市が独自に休業を要請したことにより影響が生じている中間市市民会館及び中間市生涯学習センターの指定管理者に休業協力金を支給します。

- ・ 中間市公共交通応援事業奨励金・・・・・・・・・・ 1,424 万円

公共交通事業者が利用者の新型コロナウイルス感染リスクを回避し、安全な運行に協力する場合や、収束後の利用喚起を図るための環境整備に向け、公共交通事業者に奨励金を支給します。

【債務負担行為補正】

- ・ 地方税電子申告支援システムサーバ機器賃借料・・・・・・・・ 544 万円

地方税の電子申告等の受付等を行うための「地方税電子申告支援システムサーバ機器」の賃貸借契約が令和 3 年 12 月 31 日で満了することから、引き続き令和 4 年 1 月 1 日から令和 8 年 12 月 31 日までの 5 年間、賃貸借契約を締結します。

- ・ 小学校 2 校に係る学校給食調理等業務委託料・・・・・・ 6,782 万円

現在、中間市直営で実施している中間小学校及び中間西小学校の給食調理を業務委託するため、令和 4 年 8 月から令和 6 年度末までの 32 か月間に係る業務委託料です。

○ 可 決

第 58 号議案

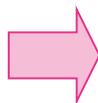
中間市総合会館条例及び中間市生涯学習センター条例の一部を改正する条例

令和 3 年 4 月 1 日から中間市総合会館（ハピネスなかま）に移転していました中央公民館の機能を令和 4 年 4 月 1 日に生涯学習センターに移転し、同センターの管理運営を指定管理から中間市直営とします。

ハピネスなかま



移転



生涯学習センター



12月定例会の概要と議決結果

○ 可 決

第 59 号議案

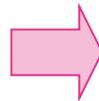
中間市総合会館条例の一部を改正する条例

現在の子育て支援センターは建物が老朽化し、雨漏り等の不具合が生じていることから、子育て事業の安定的かつ安全な継続を可能にするため、また、社会福祉協議会との連携により、より効果的な子育て事業の実施を目指すため、令和4年4月1日に中間市総合会館（ハピネスなかま）に施設を移転します。

子育て支援センター



移転



ハピネスなかま



市 長 提 出 議 案

議案番号	件 名	議決結果
同意案第 4 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について（坂口充笑）	同 意
同意案第 5 号	教育委員会委員の任命について（衛藤修身）	同 意
第 54 号議案	令和 3 年度中間市一般会計補正予算（第 9 号）	原案可決
第 55 号議案	令和 3 年度中間市特別会計国民健康保険事業補正予算（第 2 号）	原案可決
第 56 号議案	令和 3 年度中間市介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
第 57 号議案	中間市事務分掌条例の一部を改正する条例	原案可決
第 58 号議案	中間市総合会館条例及び中間市生涯学習センター条例の一部を改正する条例	原案可決
第 59 号議案	中間市総合会館条例の一部を改正する条例	原案可決
第 60 号議案	公の施設の指定管理者の指定について（太陽の広場）	原案可決
第 61 号議案	公の施設の指定管理者の指定について（中間市チャレンジショップ）	原案否決
第 62 号議案	令和 3 年度中間市一般会計補正予算（第 8 号）	原案可決

議 員 提 出 議 案

意見書案第 12 号	「土地利用規制法」の廃止を求める意見書	原案可決
意見書案第 13 号	消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書	原案可決

【議案の計数整理について】

「第 54 号議案」及び「第 62 号議案」については、議決順番の関係上、議案の内容に変更すべき事項が生じたため、議長において、議案名、字句、数字等の変更を行いました。

阿部伊知雄議員

(公明党)



国のデジタル庁設置に伴う中間市の対応について

GIGAスクール構想・マイナンバーカードの推進・テレワーク等のデジタル化が進行中ですが、デジタル庁発足をどのように受け止めていますか。

市長 本市においても、デジタル技術やAI等の活用により住民の利便性の向上、業務の効率化を図り、行政サービスの向上に繋げてまいります。
議員 デジタルの日に合わせて開催されたシニア向けタブレット講座の参加人数・内容・参加者の感想、また、今後の開催予定などについて伺います。

生涯学習課長 参加者は10名で、前半はタ

ブレット端末の操作、後半は他の地域とをオンラインで結んだ講習の2部構成で行い、参加者は全員が満足していました。今後は、2月にシニア向けスマートフォンの体験講座を開催する予定です。

議員 今後、スマートフォン体験講座は少数で複数回開催していただくことを強く望みます。

筑豊中間電停のホームまでの経路について

中間市における自動車運転免許証の返納状況について伺います。

安全安心まちづくり課長

昨年末では、返納者が210人中194名が70歳以上の方でした。

議員 高齢者の方の自動車免許返納が増

える中、筑豊中間電停は、市民にとって重要な公共交通機関ですが、上下線ともホームまでの経路が階段のみである理由と今後その経路の改修について伺います。

都市計画課長 筑豊電気株式会社では、昭和31年の開業時には現在のようなバリアフリーの概念がなく地形に合わせ、設置したとのこと。

建設産業部長 筑豊中間電停は、駅施設の段差解消を促進する国の補助事業では、1日の乗客数が補助要件を満たさず対象外であり、また、限られた用地でのスロップ設置は、困難であるため国の認可を受けられない可能性があるとのこと。

本市では、今後も引き続き、よりよい公共交通の環境づくりに向け、筑豊電気株式会社と協議してまいります。

蛙田忠行議員

(日本維新の会)



行財政改革の基本認識と方針について

2018年度以降、実質黒字決算の財政収支となっておりますが、この間、財政難を訴えて公共施設を廃止しています。福田市政の財政運営の歪曲と今後の財政運営の適正化について伺います。

ため、将来世代に過度な負担を残さないように、公共施設の見直しや事業整理、地方債の借換え、ふるさと納税の取組強化等に取り組みしていきます。

政治資金収支報告の訂正について

9月議会において、政治資金収支報告の訂正すべき明確な根拠を示したにも関わらず、訂正する理由がないと訂正を拒否されましたが、改めて訂正する意思の有無とその理由について伺います。

市長 公職選挙法及び政治資金規正法に基づき、正式な収支報告を行っており、現時点では、訂正する必要はないと認識しています。

公務出張として、石川

県小松市を訪問した業務内容について

公費すなわち税金を使用して、公私混同とも解釈されかねない税の執行を何故行い、何の為の公務出張であったのか伺います。

市長 訪問先は、北陸先端科学技術大学院大学、能美市役所、小松市役所、加賀市役所、大聖寺高校、北市漆器店、大学連携まちなかセミナー(オンライン)です。内容は、ふるさと納税の商品開発、マイナンバーカードの所有率向上の施策、最先端のDX等について拝聴し、地方自治体が直面している地域課題の解決のため、官民学を訪問してスキルアップを図り、私の求める市政のあり方の先輩、先生、成功事例の方々等にお会いし、視察するための出張でした。

掛田るみ子議員

(公明党)



公園管理のあり方の見直しについて

自治会の加入率の動向及び高齢化率について伺います。

安全安心まちづくり課長

本年4月の自治会加入率は平均53・9%で平成22年度から16・5ポイント減少しており、高齢化率は、38・1%です。

議員 自治会の加入率

低下と高齢化の進展と共に自治体による草刈り業務が難しくなってきましたが、近隣自治体の公園管理の状況を伺います。

建設課長 本市と同様に共同管理を行って

おり、異なる取組については、活動面積に応じた助成金が交付されています。

議員 児童遊園の有効活用も含めた公園管理の在り方の見直し

について市長の見解を伺います。

市長 民間の力を最大限活用することで予算を捻出し、住みよい中間市のため活用していきたいと思

議員 草刈り業務など児童遊園の管理に補助金等をつけていく

思いはあるのか伺います。

市長 できる限り早急に検討してまいります。

移住・定住人口政策の強化について

本市の人口減少率と人口減少が及ぼす財政への影響について伺います。

財政課長 国勢調査では、昭和60年のピーク時と比較して、932人減、率にして19・7%減少して

おり、税金、消費、

地方交付税が減少し、本市の財政状況は一層厳しくなります。

議員 本市の移住・定住政策事業について概要と実績を伺います。

都市計画課長 国の社会資本整備総合交付金を活用し、中古住宅の購入・リフォーム・購入後の解体・新築のための補助金を交付し、子育て世代の移住・定住促進に努めています。また、補助件数は購入13件・リフォーム6件・新築31件で155人の方が本市に移住しています。

議員 次の国勢調査に向けた人口政策の強化と同居近居補助事業の創設について、市長の見解を伺います。

市長 同居近居補助事業を実施している自治体の状況を確認し、総合的な判断をして、令和7年の国勢調査に結果を出したいと考えています。

小林信一議員

(中間クラブ)



市政の今後について

本市の高齢化率を踏まえ、高齢化社会における福祉施策の具体的な方策について伺います。

市長 令和3年度から5年度までの中間市高齢者総合保健福祉計画を策定し、高齢者のための総合窓口である地域包括支援センターを基軸に市民の皆様、関係機関との連携体制・周知の強化に取り組んでいます。

議員 少子化社会において、若い世代が住みたい住んでみたいと思う魅力あるまちづくりと子育て支援施策について伺います。

市長 今、本市では、まずは若者に、中間市を訪れてもらうためのきっかけとしての

イベント等を開催していますので、そこで中間市の魅力を伝えていければと考えています。

学校再編について

どのような経緯で決定し、また、その内容について、保護者、地域へ説明をする時期について伺います。

教育長 今年度中に小中学校の学校規模案を複数作成し、次年度、庁内関係部署との検討後、保護者、地域住民を対象にした説明会を小学校区ごとに開催して、学校再編を決定する予定です。開校については、令和7年度を目途としてい

ましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、スケジュールを再検討し、公表したいと思

学校給食について

中間西小学校及び中間小学校の学校給食が民営化されることに伴い、民間委託への移行で削減された経費を教育予算に充てることについて、再確認として市長に伺います。

市長 タブレットを活用したICT教育など、令和4年度以降の教育予算に配分します。

議員 給食調理業務民間委託による削減額と、どのような項目・事業に予算化されるのか伺います。

教育長 削減額は、3年間で約5400万円です。予算化の内容については、ICT教育に加え、校門の施設管理・校内の樹木の剪定等、施設維持管理経費に充て、また、小中学校図書室には図書事務に関する支援員を配置する予定です。

田口澄雄議員

(日本共産党)



市民の足の確保のついて

大型スーパーの閉鎖や市立病院の閉院で、市内住民の日常生活に支障が生じています。市民の利便性を図るための交通手段の整備及び問題把握が緊急に求められていると思います。市の見解を伺います。

議員 買いたい物に困っている人がいると思いますので、大型店舗の協力を得て無料買い物バスの運行などを、検討してみているかがですか。

都市計画課長

本年9月のイオン中間店の閉店は、人の動きを大きく変える要素となりましたが、令和4年春頃のショッピングモール中間のリニューアルオープン

都市計画課長 買い物支援事業は現在、介護保険課が移動販売の「青空市場」を展開していますので、是非ご利用いただきたいと考えています。

高校生の医療費の無償化について

北九州市は来年1月から高校3年生まで、自己負担なしの医療費無償化が決まっています。中間市が高校3年生まで北九州市と同様の内容で実施したら、どのくらい予算が必要ですか。

健康増進課長 現在、入院医療費は0歳から

中学3年生まで自己負担なし、通院医療費は3歳未満の自己負担はなし、3歳から小学6年生はひと月600円、中学生は1600円の自己負担となっております。

議員 全額助成対象を高校3年生までとした場合、新たに約4200万円が必要です。

保健福祉部長 高校生の医療補償をする場合、県の基準では、助成対象ではないため、本市が全額負担することとなります。しかし、子ども医療費助成制度拡充は、本市が力を入れて取り組んで支援の重要施策の一つであると認識していることから、対象者の拡充及び自己負担額の無償化については、引き続き検討します。

柴田芳信議員

(日本共産党)



中間市における福祉行政について

特別障害者手当は障害者手帳を保持しなくても要介護4又は5の方も対象となりますが、周知されていません。市の周知方法について伺います。

市長 今後とも、市内の多くの地区で通いの場が拡大していくよう、専門職の関与もも得ながら、事業の普及啓発に努めてまいります。

福祉支援課長 周知方法については市のホームページや福祉のしおり、窓口での説明などを行っておりますが、障がい者に対してだけの施策に見え兼ねないことから、今後は介護保険課やケアマネージャーと連携を図りながら、特別障害者手当の周知に努めます。

議員 紙おむつ事業について、市外の施設に入居している方にも給付すべきではないでしょうか。市の考えを伺います。

介護保険課長 他自治体でも同事業を実施していますので、ご確認いただき、居住実態に沿った住民票の異動等を行っていただきます。

中間市における防災対策について

8月の大雨による上底井野地区及び岩瀬西町54番付近の浸水被害のその後の対策について伺います。

建設産業部長 上底井野地区は、宅地化が進んだことにより、一時的貯留場が減少したことが原因であり、対策は現在検討中です。また、岩瀬西町54番付近は、筑豊本線軌道下の排水管の排水不良が原因で、軌道内であることから、JR九州と協議した結果、令和4年度に設計業務、令和5年度に工事開始を予定しています。

議員 介護事業の一環であるケアアトランポリンわいわい教室が、市内全体の取組になっけていません。市の考えを伺います。

議員 厚生労働省は児童虐待を防ぐため、虐待の兆候がある子育て家庭などを支援する体制を強化する方針を固めたことですが、市の対応

安田明美議員

(福祉クラブ)



通谷歩道橋の撤去について

昨年の12月議会の一般質問後の進捗状況を伺います。

建設課長 工事の実施に向け、必要な設計図の作成を筑豊電気鉄道株式会社に委託しており、撤去後の安全対策は、折尾警察署と現地協議を行っています。

議員 踏切内歩道の安全対策について、車椅子の方や杖を持った方、また、通学路としての安全性は確保できていますか。
建設産業部長 歩道については、グリーンベルト化されており、2メートル以上の有効幅員が確保されていることから、安心して通行できるものと考えます。また、

通学路となっていることから、更なる安全対策を検討してまいります。

コミュニティ広場の今後の活用について

保健センター、体育文化センター及び図書館の今後の管理、整備について伺います。
公共施設管理課長 令和2年度策定の中間市公共施設等個別施設計画により、建物の予防保全を行い、長寿命化を図ります。

議員 今後、コミュニティ広場は、どの部署が所管し、具体的に市はどのように活用するのか方針を伺います。
公共施設管理課長 公共施設管理課が中心となり、施設所管課及び関係部署と連携、調整を行い、全庁を

挙げて推進体制の構築を図ります。
さくら保育園の運営について

双葉保育園の5歳児死亡事故を受け、延期されているさくら保育園の民間移譲時期について伺います。
保健福祉部長 双葉保育園から10名の転園を受け入れている状況であることから、一旦保留とし、時期を見て再度検討したいと思えます。

議員 さくら保育園は、公立保育所として安全安心な保育サービスを提供するために正規職員を確保することは重要であると思えます。市の見解を伺います。
保健福祉部長 人材の確保は、保育の質に直結する重要なことと認識しており、民間移譲の時期も考慮し、必要に応じて、正規職員の採用について検討

人事紹介

《敬称略》

固定資産評価審査委員会委員

坂口 充笑

教育委員会委員

衛藤 修身

議会の生中継を公共施設で行っています。

議会が中継される施設

地域交流センター、ハピネスなかま、なかまハーモニーホール
※議会開催日が休館の施設では、中継は行っていません。



議会の生中継



次の定例会は、3月1日(火)から開催します。

議員の一般質問は3月3日(木)午前10時から行います。

本会議及び委員会の日程は決まり次第、中間市のホームページに掲載します。



会期日程 QR コード

次の定例会 問合せ先：議会事務局 ☎ 246-6220

残念ながら、水と空気には印刷できません...

http://www.hidaka-print.com/



(有)日高印刷所

〒809-0034 福岡県中間市中間一丁目4-16 TEL (093) 245-0214 FAX (093) 244-8760



藤木建設株式会社

- ◆ 土木建築工事業 ◆ 下水道更生管工事業 (SPR工法)
- ◆ 管・水道施設工事業 ◆ とび・土工事業 ◆ 舗装工事業
- ◆ 土壌改良及び地下環境保全 (リテラ工法)

〒809-0030 中間市中央1丁目9番30号1階
TEL 093-246-2355 FAX 093-246-0158



ISO 9001:2015
03338-01
ISO 14001:2015
09631-01

有料広告欄



■点字・声の市議会だよりなかまを発行しています

目が不自由な人に「市議会だよりなかま」を点字または朗読テープにしてお届けします。詳しくはお問い合わせください。

【問合せ先】議会事務局 ☎ (246) 6220